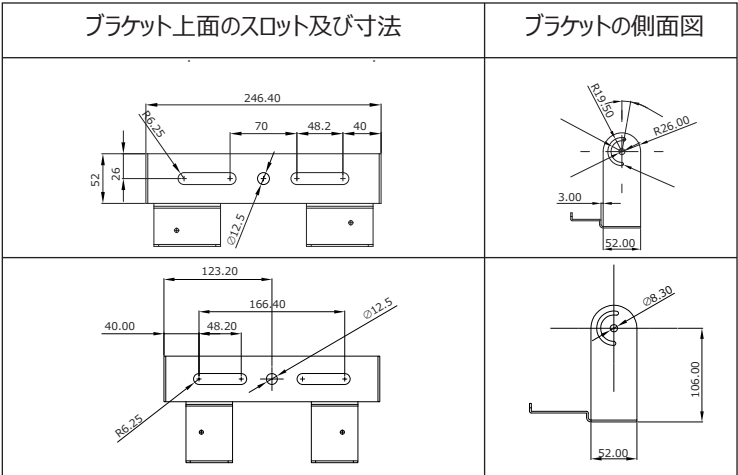


APJY Series 取扱説明書 (OPTION 無し)

施工前の確認事項

1. 器具重量に耐えられるように、取付部の強度を確保する。
2. 取付面が十分乾燥していることを確認する。
器具の取付面の変色の原因になります。
3. 取付ピンチ
右図は器具を取付面(ブラケット上面)から見た図面です。



安全に関する ご注意

- 照明器具及び関連機器には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。(周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯の場合)
- 周囲温度が高い場合や点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 3年に1回は、工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せず長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

使用上のご注意

- ・照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。
- ・数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
- ・器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- ・器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。器具と音響製品を離してご使用ください。

LEDユニットについて

- ・明るさが70%になるまで平均約50000時間です。
- ・LEDのみの交換は出来ません。
- ・LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- ・LEDはパツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。
- ・LEDの短寿命の恐れがあるため、直接日光が当たる時間帯は点灯しないでください。

器具のお手入れ

- ・<注意!> 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。
- ・明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- ・器具の汚れは乾いた柔らかい布が薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞って拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性の高いもので拭いたり、殺虫剤を使用した場合は、薬剤が残らないようよく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

型番

APJY031-110LLC0, APJY031-110WWC0, APJY031-110VC0,
APJY048-110LLC0, APJY048-110WWC0, APJY048-110VC0
APJY060-060LLC0, APJY060-060WWC0, APJY060-060VC0,
APJY060-110LLC0, APJY060-110WWC0, APJY060-110VC0

施工者様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

施工者様へ安全上のご注意

⚠ 警告 製品の取扱を誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示します。

- 施工は、「取付方法」にしたがい確実に行ってください。施行に不備があると、火災、感電、落下等の原因となります。
- 器具を設置、撤去、掃除する前に、必ず電源スイッチをOFFにしてください。
- 電源接続は取扱説明書に沿って確実に行なってください。接続に不備があると、火災、感電、落下等の原因となります。
- アース工事は電気設備の技術基準に従い、確実に行なってください。アースが不完全な場合は感電、LED損傷のおそれがあります。
- 器具の改造、構成部品の変更・交換を絶対にしないでください。火災、感電、落下の原因となります
- 器具は落下、火災、及び感電などの危険を避けるため、質量や風圧などの荷重に耐える場所に確実に取り付け、器具を布や紙など燃えやすいもので覆ったり、被せたりしないでください。
- パネルに衝撃を加えないでください。また、かけやひび割れが発生しているパネルは使用しないでください。パネル落下の原因となります。

⚠ 注意 製品の取扱を誤った場合、傷害を負うことが想定されるかまたは物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示します。

- 取り付け面が強度不足の場合は器具の落下によるケガの原因となりますので器具の質量に応じて十分確認して取り付けください。
- 器具の直下は高温になっています。ドアや家具、ダンボールなどの可燃物を近づけて使用しないでください。被照射物の焼損による火災の原因になります。
- 定格電圧は電源接続の際に必ず確認をしてください。誤って使用しますと火災・感電の原因となります。
- 使用する電線は適合ケーブルを使用してください。
- 器具の取付周囲温度が-20～50℃でご使用ください。一時的に50℃まで上昇する場所でも使用は可能ですが、継続使用されますと部品劣化による短寿命や光束低下の原因となりますのでご注意ください。

お客様へ

器具の取付は必ず電気工事店に依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

お客様へ安全上のご注意

⚠ 警告 製品の取扱を誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示します。

- 器具の改造、構成部品の変更・交換を絶対にしないでください。火災、感電、落下の原因となります。
- 万一、煙が出たり、異臭がするなどの異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店、または工事店にご相談ください。異常状態のまま使用しますと火災、感電の恐れがあります

⚠ 注意 製品の取扱を誤った場合、傷害を負うことが想定されるかまたは物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示します。

- お手入れの際は、必ず電源を切って、器具が十分冷えてから行ってください。感電、ヤケドのおそれがあります。
- 殺虫剤などの引火物の噴霧は行わないでください。発火によるやけどの恐れがあります。
- 器具を布や紙など燃えやすいもので覆ったり、被せたりしないでください。発火の原因となります。
- 安全に使用するために、定期的に工事店などによる点検を行なってください。異常の場合、販売店、または工事店にご相談ください。
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換を行なってください。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯。
- 汚れを落とす場合は、石けん水にひたした柔らかい布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。アルカリ洗剤、シンナー、ベンジンで拭かないでください。変色・変質の原因となります。

照射方向の設定について

- 照射方向の設定のためブラケットの角度調節する時は、まず、製品の両側の可変固定ボルトM4 SEMSスクリューボルトを完全に緩めて、両側のブラケット回転軸固定用M8 SEMSスクリューボルトを半分緩めてから角度を調整してください。
- 角度調節が完了できたら、順番にM8 SEMSスクリューボルトとM4 SEMSスクリューボルトを締め付け、ブラケットを固定してください。
- 照射角度は活用角度範囲以内で調節してご使用ください。
※ 角度調節は約10°単位で出来ます。片側基準で最大90°、100°までに調節できます。

取付時の注意事項

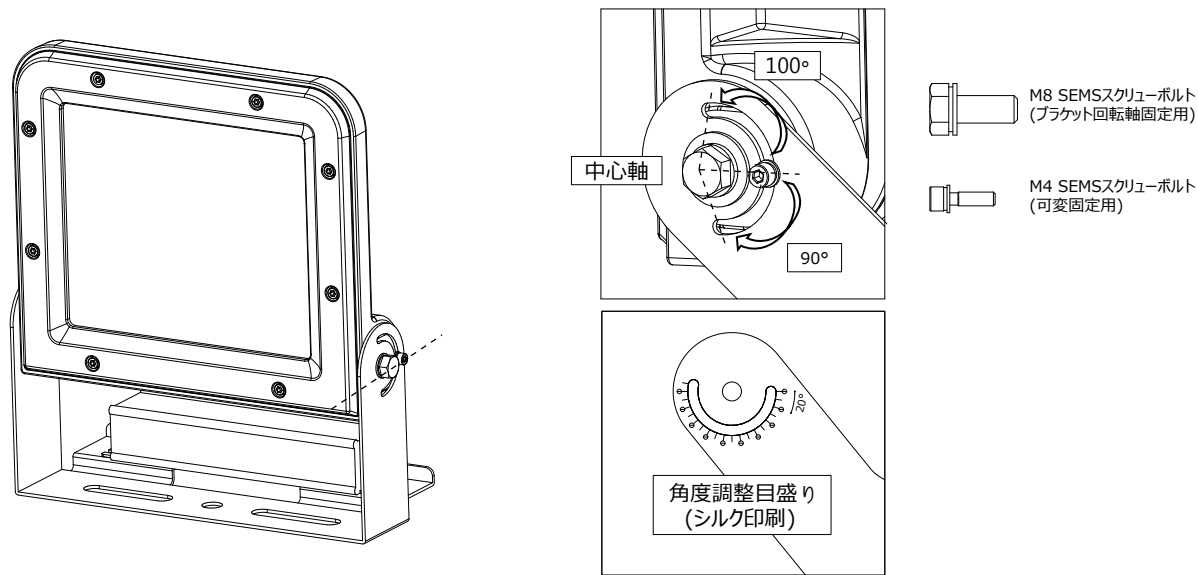
⚠ 警告- 3重安全装置構造：ブラケット回転軸固定ボルト(M8)、可変固定ボルト(M4)締結及び落下防止ワイヤは必ず取り付けてください。

施工手順

⚠ 注意- 取付の際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

1.照射方向、角度に合わせブラケットを調整してから固定する。

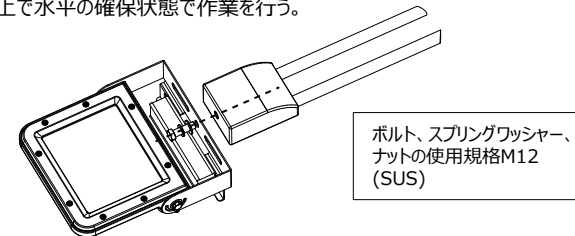
ブラケット回転軸固定用M8 SEMSスクリューボルト、可変固定用M4 SEMSスクリューボルトは必ず両側に締結すること。
各ボルトはスプリングワッシャが圧着されるまでに締め付けること。



⚠ 施工は、「取付方法」にしたがい確実に行ってください。施行に不備があると、火災、感電、落下等の原因となります。

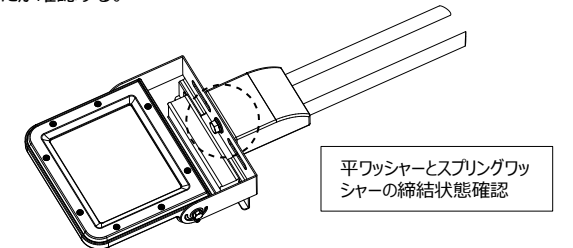
1. 製品ブラケット中心ホールをアームのボルトホールと一致させた後、組み立てる。「固定アーム及び壁面取り付け用ブラケット」

- M12 ボルト、スプリングワッシャーを使用して固定する。
- 器具取付の際は、安全施工上、2人以上で水平の確保状態で作業を行う。



2. 灯器具と製品の組立後、スプリングワッシャー密着状態を確認する。

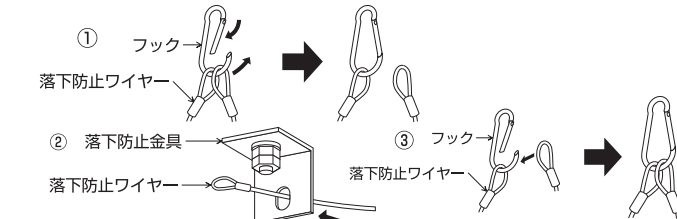
組立された灯器具と製品にスプリングワッシャー・平ワッシャーがしっかりと締結したか確認する。



3. 落下防止ワイヤを固定物に取り付ける。

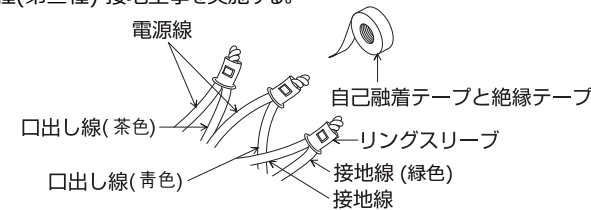
落下防止ワイヤは必ず、製品と固定物に確実に締結させる。
必ず、クリップが締められていることを確認する。

!警告 落下防止ワイヤを確実に取り付けてください。
取り付けに不備があると落下によるけがの原因になります。



5. 電源線を接続する

電源線と口出し線を実際に接続し、防水及び絶縁処理を行なう。
* D種(第三種) 接地工事を実施する。



照射距離について

- 照射距離により被照射面が変色・変質するおそれがあります。
被照射面との距離は0.5m以上は離してください。

